

# 平成28年度 学校評価結果(教員54名)

学校教育目標	重点目標
校訓「克己・協調・創造」の理念に基づき、自分に打ち勝つ強い心や他者に対する思いやりの心、目標に立ち向かうチャレンジ精神を養い、生涯にわたって生きがいのある人生を切り拓き、常に社会の発展に貢献できる人材を育成する。	①学習内容の定着
	②信頼感を基盤とした生徒指導の充実
	③キャリア教育の推進
	④人権を尊重する教育の徹底
	⑤部活動の活性化と活力ある学校づくり
	⑥特色ある学校づくりの推進
	⑦開かれた学校づくりの推進

※以下の各項目について次の基準で自己評価をしてください。

(評価) 4…よくできている 3…できている 2…あまりできていない 1…できていない

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	評価				平均	
				4	3	2	1	今年	昨年
学 校 経 営	学校運営	校務分掌組織の活性化	1 学年・部の目標等を共通理解し、協力的・組織的に活動して、各自がその責任を果たす。	13	23	18	0	2.9	3.0
				24.1	42.6	33.3	0.0		
	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信と学校説明会の実施	2 学校のホームページや学年通信等を通じて保護者に学校の情報を提供するとともに、中学校訪問、学校説明会、学校見学などを行い、地域に一層開かれた学校づくりを進める。	26	27	1	0	3.5	3.5
				48.1	50.0	1.9	0.0		
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	3 学校評議員会やPTA懇談会等で各委員から出された意見を吟味し、授業や行事の改善に役立てる。	12	30	11	1	3.0	2.9
				22.2	55.6	20.4	1.9		
		生徒の内面の理解を図る指導の工夫	4 個人面談を実施するとともに、家庭と綿密な連携を図り、必要であれば家庭訪問を行う。	28	23	2	1	3.4	3.4
				51.9	42.6	3.7	1.9		
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	5 キャンパスカウンセラーによるカウンセリング研修を実施し、生徒の内面理解を図る指導法の共有を図る。	24	27	3	0	3.4	3.3
				44.4	50.0	5.6	0.0		
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	6 執行部が設定した課題について、委員会やHR等を中心に課題の達成に向けた取組を行い、生徒の自立の意識を高める。	10	27	16	1	2.9	2.9
				18.5	50.0	29.6	1.9		
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	7 生徒会行事については、実行委員会を設置し、生徒が企画・運営を行う。	14	26	14	0	3.0	3.0
				25.9	48.1	25.9	0.0		
		基本的な生活習慣の育成	8 あいさつ・時間厳守・言葉遣い・服装など、高校生としてふさわしい生活態度を育む。	14	35	5	0	3.2	3.5
25.9				64.8	9.3	0.0			
	交通安全・交通マナー指導の徹底	9 交通マナーを守り、常に交通安全に心がけるように指導を徹底する。	8	42	4	0	3.1	3.2	
			14.8	77.8	7.4	0.0			
進路指導	進路指導体制の充実	10 3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。	14	37	3	0	3.2	3.3	
			25.9	68.5	5.6	0.0			
			11 進路状況・結果について、適宜、必要な情報を全職員に提供して共通理解を深めるとともに、進路指導部と各学年が連携し、そのために必要な対策を講じる。	17	26	11			0
31.5	48.1	20.4	0.0						
	望ましい職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	12 進路ガイダンス、インターンシップ、進路通信等で生徒の望ましい職業感、勤労観の確立に努め、進路への意識を高める。	21	33	0	0	3.4	3.4	
			38.9	61.1	0.0	0.0			
教職員の資質向上	実践的指導力の向上	13 いつでも授業公開ができる体制を整える。	12	21	21	0	2.8	2.9	
			22.2	38.9	38.9	0.0			
	計画的な研修の実施	14 進路・教務・生徒指導等、学校の諸課題について校内研修を計画的に立案する。	11	20	22	1	2.8	2.8	
			20.4	37.0	40.7	1.9			
危機管理体制の整備	実効ある危機管理マニュアルの策定と地域と連携した危機管理体制の構築	15 学校の実情に応じた危機管理マニュアルを作成し、定期的に対応訓練を行うとともに、家庭・地域・関係機関との連携を密にした危機管理体制を構築する。	7	25	22	0	2.7	3	
			13.0	46.3	40.7	0.0			

・平均値は4～1までで、高い数値が良い評価となります。

・H25年度に実践目標の見直しを行ったため、昨年度との比較ができない項目には - で表示しています。

(上段)教員数
(下段)教員全体から見た%

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	評価				平均	
				4	3	2	1	今年	昨年
教 育 課 程	自ら学び、自ら考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開	16 インターンシップやふれあい育児体験等の体験的な学習や問題解決的な学習の定着を図る。	18	34	2	0	3.3	3.2
				33.3	63.0	3.7	0.0		
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価規準の設定	17 教科会議などを活用して問題解決的な学習の指導方法を研究し、実施する。	10	20	20	4	2.7	2.4
				18.5	37.0	37.0	7.4		
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価規準の設定	18 入学時に入学生の学力を客観的にはかるテストを実施し、その結果に応じて習熟度別授業や少人数指導などの指導方法を工夫する。	11	31	12	0	3.0	3.0
				20.4	57.4	22.2	0.0		
	基礎・基本の定着	充実感・達成感が味わえる指導方法の工夫	19 各教科で評価規準を設定し、それに基づいた評価を行い、その妥当性の検証を行う。	8	32	12	2	2.9	2.8
				14.8	59.3	22.2	3.7		
	基礎・基本の定着	充実感・達成感が味わえる指導方法の工夫	20 基礎・基本の定着を図り、充実感・達成感が味わえる指導を工夫する。	7	38	8	1	2.9	3.0
				13.0	70.4	14.8	1.9		
総合的な学習の時間	教育課程を高めるための体制の確立	21 総合的な学習の時間についての委員会を定期的に開催し、3年間を見据えた計画を立てる。	15	31	6	2	3.1	3.0	
			27.8	57.4	11.1	3.7			
総合的な学習の時間	教育課程を高めるための体制の確立	22 様々な専門家や地域の方など、外部講師を積極的に活用する。	21	23	10	0	3.2	2.9	
			38.9	42.6	18.5	0.0			
個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	23 目標に準拠した絶対評価と観点別評価の主旨を教務規程に反映させ、様々な評価方法の導入を図る。	6	27	20	0	2.7	2.7	
			11.3	50.9	37.7	0.0			
	指導形態の工夫	24 英語・数学等で習熟度別授業や少人数指導を実施し、個に応じた指導を行う。	16	31	6	0	3.2	3.2	
			30.2	58.5	11.3	0.0			
指導形態の工夫	指導形態の工夫	25 各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導など効果的な指導形態を研究・実践する。	6	34	12	1	2.8	3.0	
			11.3	64.2	22.6	1.9			
防災・安全教育	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	26 防災訓練を行う前に関係者による打合せを十分に行い、意識の高い訓練を行う。	10	22	20	2	2.7	2.7	
			18.5	40.7	37.0	3.7			
	防災・安全教育	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	27 救急救命講習の受講により、いかなる時にもまず生徒の命を守るという教職員の意識と技術を高める。	16	26	11	1	3.1	3.1
				29.6	48.1	20.4	1.9		
人権教育	人権教育推進体制への取組	28 3年間を見通した人権LHRの充実を図り、計画的に実施する。	6	23	22	3	2.6	2.8	
			11.1	42.6	40.7	5.6			
人権教育	人権教育推進体制への取組	29 人権教育推進委員会を中心に、年間の人権HRの実施内容などの検討を行う。	7	31	14	2	2.8	2.8	
			13.0	57.4	25.9	3.7			
情報教育	情報モラルの育成	30 情報発信に伴う責任など情報モラルの向上を図る。	6	28	17	3	2.7	2.8	
				11.1	51.9	31.5	5.6		

・平均値は4～1までで、高い数値が良い評価となります。

・H25年度に実践目標の見直しを行ったため、昨年度との比較ができない項目には - で表示しています。

(上段)教員数

(下段)教員全体から見た%